

令和5年度 学校だより 臨時号



と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

4月1日よりホームページが移転・リニューアルしました。ブックマークの変更や再登録をお願いします。



高岡市立戸出東部小学校
令和5年7月14日発行

バニラ、ありがとう

校長 吉田 真寿美

6月中旬より、体調を崩していたウサギのバニラが、7月13日に亡くなりました。10年以上、戸出東部小学校の子供たちにかわいがられてきたと聞いています。

昨日、バニラに伝えたいことを手紙に書いてくれたら、亡骸と一緒に送ってあげたいと伝えました。すると、たくさんの手紙や花、ニンジンやバナナのお供え物が届きました。

一部、紹介します。

バニラへ

ぼくは、バニラがいてとても嬉しい気持ちでした。
このごろ、えさを食べないので、心配していました。
今日、バニラが死んでしまって、とても悲しい、ありがとう、忘れないよ、と
思っていたら、夜、眠れないと思いました。
学校に行ったらバニラがいそうな気がしました。
でも、いませんでした。
だけど、近くにたましいがいると思ったので、少し悲しくなくなりました。
今までありがとう、バニラ♡



わたしは、バニラのこと大好きでした。
七夕の短冊にも、あんどんにも書いたほどです。
バニラに、ずっとわたしたちのことを見守ってほしいです。
がんばって長生きして、とても、がんばったね。

長生きしてくれて、ありがとう。
天国へ行って、元気でね。

いつも、見守ってくれてありがとう。大好きだよ。

天国で、ラッキーと走ってね。今までありがとう。

子供たちに、たくさんの優しさ、命の大切さ、頑張ることの大切さなどを教えてくれました。教職員も、最後の1か月は、平日はもちろん、週末は、朝、昼、晩と3人体制で介護しました。バニラのおかげで、戸出東部小学校のみんなが心を一つにすることができたように思います。本当に、本当に、ありがとう、バニラ。ずっとずっと大好きです。